

校友会報



大阪経済法科大学

vol.20

2015年9月4日発行

www.keiho-u.ac.jp/kouyuukai/



Contents

- 02 2015年度第17回大阪経済法科大学
校友会総会・懇親会
- 03 2015年度第9期大阪経済法科大学校友会役員 他
- 04 支部活動報告
- 05 活躍する卒業生紹介
ウインズ平阪(本名:平阪佳久)
- 06 母校の近況報告
- 10 2015年度事業計画・2014年度事業報告
- 12 NEWS&TOPICS・事務局からのお知らせ



八瀬林 肇 八瀬林 肇 八瀬林 肇
（校友会副会長・法学部6期生）
実行委員長

平素は校友会事業に関しまして、多大なご支援ご協力をいただき誠に有難うございます。

今年も本学卒業生が一堂に会する校友会総会・懇親会の季節がやってまいりました。

母校である大阪経済法科大学は、開学から43年の歳月が経ち、4万人超の卒業生を輩出してきましたが、昨年度は経済学部経営学科を開設し、今年度は大学院（経済学研究科）を新たに開設するなど、目覚ましい発展を遂げています。

さて、今年の総会・懇親会は、昨年度に引き続き、大阪の都心部にあるシェラトン都ホテル大阪にて10月3日（土）に開催させていただき運びとなりました。

私自身、校友会活動を通じ多くの校友と出会い、多くの事を学び、利害関係の

ない良きお付き合いの出来る方々と知り合うことが出来ました。これらは私にとりまして大きな財産だと思っております。「行動に移さないでじっと待っているのも一日、自らが行動し、何かを感じたり新しい出会いを求めるのも同じ一日」です。

校友会総会・懇親会は、卒業生皆様の交流の場であり、憩いの場でありたいと考えております。是非、多くの皆様方に総会・懇親会に足をお運びいただき、学生時代に帰り、楽しいひとときを共有することができれば幸いです。

本学の更なる発展と世代を超えた校友の輪が益々広がっていくことを切に願うとともに、一人でも多くの校友の皆様方と当日お目にかかれますことを心より願っております。

第17回校友会総会・懇親会開催概要

日時：2015年10月3日（土）
（総会）16時～（受付15時30分～）
（懇親会）17時30分～

会場：シェラトン都ホテル大阪「浪速の間」

会費：5,000円（懇親会費）

※2014年度卒業生
（2015年3月卒業）は無料

内容：

（総会）2014年度事業報告及び2015年度事業計画、各地域支部の活動報告・活動計画、藤本学長による母校の近況報告などが行われます。

（懇親会）豪華な食事に舌鼓を打ちながら、校友・在学生・教職員との交流をお楽しみください。

在学生によるパフォーマンスや素敵な景品が当たる抽選会など、ご参加いただいた皆様楽しんでいただけるような企画を多数用意しております。

ACCESS

シェラトン都ホテル大阪（近鉄電車 大阪上本町駅 直結）
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-1-55 TEL 06-6773-1111（代表）

電車でお越しの方

JR新大阪駅より

- 地下鉄「御堂筋線」なんば駅で近鉄線に乗り換え。大阪上本町駅下車（約30分）

- 地下鉄「御堂筋線」なんば駅で地下鉄「千日前線」に乗り換え。谷町九丁目駅下車

JR大阪駅・地下鉄梅田駅・東梅田駅より

- JR「大阪環状線」鶴橋駅で近鉄線に乗り換え。大阪上本町駅下車（約20分）

●地下鉄「谷町線」東梅田駅にご乗車の上、谷町九丁目駅下車（約15分）

阪神三宮駅より

- 「阪神なんば線」から近鉄線直通、大阪上本町駅下車（約50分）

お車でお越しの方

阪神高速1号環状線道頓堀出口より約5分



2015年3月7日に開催された2014年度第3回（通算第65回）校友会幹事会において、2015年度第9期大阪経済法科大学校友会役員改選について審議が行われ、以下のとおり、承認されました。

第9期役員は、2015年4月1日～2017年3月31日までの2年間となっており、今後、校友会事業計画に則り、母校の発展に寄与することができるよう、積極的な活動を展開していきます。

■第9期大阪経済法科大学校友会役員

顧問	藤本 和貴夫 学長		正会員		特別会員	
会長	伴井 敬司 1期生					
副会長	八瀬林 肇 6期生		能塚 正義		副学長/ キャリア支援部長	
	北垣 義弘 7期生					
	三戸 泰樹 20期生					
常任幹事	小橋 光生 1期生		藤島 光雄		学生部長/ エクステンション センター長	
	安田 公治 2期生		山中 雅登		事務局長	
	阪本 誠 4期生		羽牟 勝規		学生課長代理	
	前吉 克明 8期生		西澤 十三夫		OB職員	
	中村 和義 9期生		丸井 龍夫		OB職員	
	姜 公晴 12期生					
	中津 広志 13期生					
	渋谷 博之 20期生					
	出口 寛 22期生					
	石山 陽浩 25期生					
山内 綾 29期生						
会計 監査	鍛冶屋 佳美 5期生					
	岡本 香菜子 35期生					
			中須 秀治 (三重支部長)		1期生	
			柘田 博昭 (広島支部長)		3期生	
			樋上 有司 (岡山支部長)		4期生	
			勝部 恒夫		5期生	
			石塚 央 (香川支部長)		6期生	
			政宗 正章		8期生	
			宮松 久浩 (東京支部長)		9期生	
			山下 浩希 (石川支部長)		10期生	
			岸 泰至 (愛知支部長)		12期生	
			新里 靖 (沖縄支部長)		14期生	
			柴田 剛		14期生	
			宮本 英浩		17期生	
			江川 充彦		17期生	
			小林 保重		22期生	
			濱田 亜紀		27期生	
			吉田 隆顕		31期生	
			富山 源太郎		32期生	
			町田 朋佳		33期生	
			李 雅光		33期生	
			藤井 勇也		36期生	
			山路 崇正		経済学部講師	
			矢野 哲也		法学部教授	
			呉 紅敏		教養部准教授	
			安東 浩俊		財務部長代理/ 会計課長	
			金城 栄昌		キャリア支援課	
			橋本 久		OB教員	
			高岡 幸一		OB職員	

卒業生 NEWS & TOPICS

第44回経法祭が11月上旬に開催されます。今年も家族連れで母校を訪問しよう。

学生の最大イベントである経法祭が、今年も花岡キャンパス、八尾駅前キャンパスの2キャンパスで開催されます。

校友会では毎年、在学生に対する校友会のアピールと経法祭を機会に母校を訪れる校友の憩いの場を提供することを目的に、積極的に経法祭に参加・協力し、今年も餅つき大会や地域支部による模擬店を出店し、卒業生とその家族、在学生、教職員、地元住民との交流ができるよう、盛りだくさんな企画を実施する予定です。現在、校友会では、経法祭期間をホーム

カミングデーとして位置づけ、校友が懐かしいキャンパスに集い、交流を深めることができるよう鋭意準備を進めています。家族や友人を誘って、ぜひ母校に遊びに来てください。また、参加校友には、模擬店で使用できるクーポン券のプレゼントなどの特典を用意しています。詳細については、校友会ホームページに掲載（10月中旬予定）いたしますので、ご覧ください。


皆様のご来場を校友会一同、心よりお待ちしております。



石川支部
支部長 山下 浩希(10期生)

【主な活動状況】
○インターンシップの受入
(在學生との交流)
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)


【一言メッセージ】
北陸地方にお住まいの校友の皆様は、お気軽にご参加ください。



東京支部
支部長 宮松 久浩(9期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○各種交流会の開催
(忘年会等)


【一言メッセージ】
多くの校友の皆様に参加していただけるよう、魅力ある企画を引き続き実施していきます。



岡山支部
支部長 樋上 有司(4期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○ボランティア活動(清掃)、各種交流会の開催(異業種交流等)


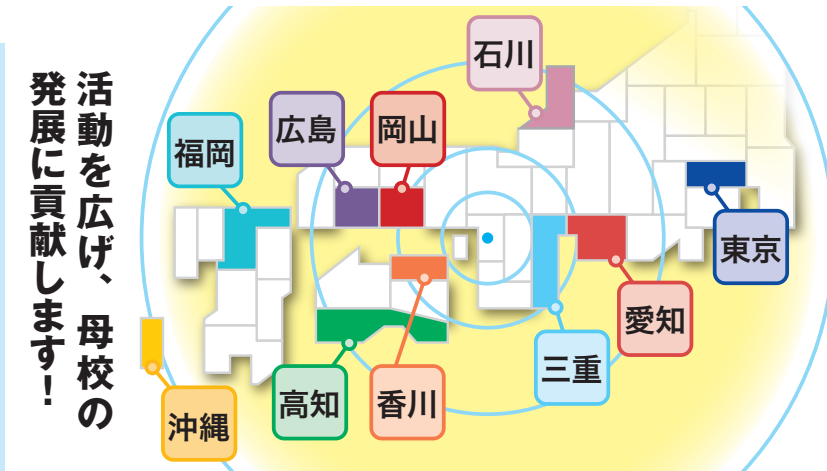
【一言メッセージ】
地域貢献の一環として取り組んでいるボランティア活動等を通じて、交流を深めていきたいと思ひます。



高知支部
支部長 小橋 光生(1期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○経法祭への参加・協力、地方父母懇談会への参加・協力等

【一言メッセージ】
卒業生が高知県に帰りたくなるよう、在學生への就職支援等を更に充実させていきます。





活動を広げ、母校の発展に貢献します！

愛知支部
支部長 岸 泰至(12期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○経法祭への参加・協力、各種交流会の開催
(忘年会等)

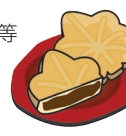
【一言メッセージ】
今年も母校の発展のため、全力で取り組んでいきます。



広島支部
支部長 栢田 博昭(3期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○経法祭への参加・協力等


【一言メッセージ】
設立16年目を迎える広島支部を皆様と一緒に盛り上げていきたいと思ひます。



福岡支部
支部担当者 渋谷 博之(20期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○経法祭への参加・協力等


【一言メッセージ】
SNS等を活用し、引き続き、支部会員の拡大に取り組んでいきます。



三重支部
支部長 中須 秀治(1期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○経法祭への参加・協力、愛知支部との交流等


【一言メッセージ】
支部活動を一層活性化させることができるよう、皆様のご参加をお待ちしています。



香川支部
支部長 石塚 央(6期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○県内で行われる在學生の合宿やクラブ活動への支援等


【一言メッセージ】
若い世代の会員も徐々に増えつつある香川支部を更に活性化させていきたいと思ひます。



沖縄支部
支部長 新里 靖(14期生)

【主な活動状況】
○支部総会・懇親会の開催
(校友との親睦・交流)
○経法祭への参加・協力、各種交流会の開催(ビーチパーティー等)

【一言メッセージ】
沖縄県出身の卒業生を中心に、家族や友人たちとの交流も深めていきたいと思ひます。




ウインズ平阪(本名:平阪佳久)さん
ジョーシン電機 CMソングやFM大阪の番組でもおなじみ

■音楽活動に没頭した学生生活
高校の時から本格的に音楽活動を始め、大阪経済法科大学入学後は、文化会の軽音楽部に入学したのですが、地元和歌山で組んでいたバンド(現ウインズの前身バンド)の活動が忙しく、軽音楽部を半年で退部することになりました。和歌山の実家から2時間半かけて通学していた上、在学中はバンド活動やバイトなどが中心の生活になっていたので、4年間で卒業できるかは本当に最後まで不安でした。実際、4年生の時に、体育の授業を受けているくらいでした。それでも、大学在学中に出会った友人や先輩方とは、卒業後も仲良くお付き合いをさせていただき、そのたびに大阪経済法科大学の卒業生で本当によかったと実感させられています。

■紀の国わかやま国体イメージソング「明日へと」
今年9月に地元和歌山で開催される紀の国わかやま国体のイメージソングに、自分が作詞作曲した「明日へと」が選ばれました。この歌には、何か目標を達成するために頑張ってきた皆さんに、その力を存分に発揮してほしいという気持ちと、結果としてやってきたことが実らなかったとしても、その過程で得たものや築かれたものは、これから先、必ず自分の糧となり、自分自身を成長させてくれるという思いを込めています。自分自身、中学校までは野球部に所属し、目標に向かって仲間と一緒に練習した思い出やそこで築き上げられた友情は一生の宝物だと思っているので、自分の歌を通じて皆さんにそういった思いを伝えることが少しでもできれば思っています。

っています。
今年2015年1月1日に発売した2枚組アルバム「ウインズBEST 2&和歌山SONG集」には、ジョーシンのCMソングや紀の国わかやま国体のイメージソングを含め、そんな想いの詰まった楽曲が35曲収録されています。機会があれば是非ご聴取下さい。ウインズの曲はカラオケでも多数配信されていますので、歌っていただけると嬉しいです。

■自身の現状生かしオンリーワン!
アーティストが育ちにくい和歌山県は夢を持った若者が故郷を離れ人口減少が続いています。そんな和歌山に生まれ育った平阪は、地元で活動するアーティストが少ないことを逆にチャンスと捉えたと共に若者達に故郷に誇りを持って貰いたいと言う想いもあり、レコード会社と契約の際にも、地元を離れず活動を続けてきました。もちろん東京に出て全国メジャーになった音楽仲間もいます。しかし57歳になった現在ま

**マイナスかプラスか
考え方次第!**
自身の環境をプラスに捉えればピンチもチャンスに変えられるはず!

で現役を続け、音楽や番組で家族を養えたのは、ナンバーワンではなく、和歌山県でのオンリーワンを目指したからだと思っています。母校の皆さんにも、今の現状をプラスに捉え世界に1人だけの、それぞれの才能を生かして30周年を迎える来年5月には一旦ウインズの活動を休止することになりましたが、それまでには来年1月10日の大阪BIG CATや5月4日の和歌山市民会館をはじめ各地でLIVEがあります。機会があれば是非一度LIVEにもご来場下さい。詳しくは「ウインズ」で検索! ウインズWINDS公式サイトで!
最後に、何事にも前向きに、そして自分の決めた道を信じ、突き進み、自分の目標や夢を実現してください。



check it out! 11月1日発売「ウインズBEST 2&和歌山SONG集」
品番: WINDS-12 流通: ダイキサウンド
ご注文は全国のCD店、またはAmazon.jpで!

■プロフィール
1986年/ビクターエンターテインメントからのスカウトでデビュー。
1991年/日本クラウンに移籍し、後輩、山根康広の「Get Along Together」を含むファーストアルバムやジョーシン電機・吉野家をはじめ50社以上のCMソングを手掛ける。
2008年/県文化奨励賞を受賞! 2015年開催「紀の国わかやま国体」のイメージソングを担当! FM大阪、和歌山放送、テレビ和歌山など、関西の各レギュラー番組にも出演中!

「その他の出演番組」
9月19日(土)MBSテレビ13:54~15:58「陣内・中川家のWHO ARE YOU?」

教育・研究・地域活動

学生制作の商店街情報誌『やおセレクション』刊行
報告のため、八尾市長を表敬訪問

経済学部高橋ゼミ(指導教員:高橋慎二准教授)では、八尾市との連携のもと、商業集積(商店街)が抱えている課題の抽出とその解決のあり方を探る「八尾市産業振興・まちづくりに関する調査研究」プロジェクトに取り組んでいます。

その課題として、事業者・商店街と消費者との間の情報発信・受信機能をより向上させる必要があることに着目し、今回その解決を探るための社会実験に取り組み、本学の八尾駅前キャンパスが立地する八尾市内最大の商業集積地である近鉄八尾駅周辺の商店街地域をモデル地区とした、魅力を伝える情報誌『やおセレクション』を刊行しました。この取り組みは、両者の情報の橋渡し役を大学生が担っていることが特徴で、店舗の選定や記事の作成、写真撮影を含め、すべてをゼミ生が担当しています。

情報誌の完成を受けて、その報告と意見交換のため、高橋ゼミの学生と担当教員である高橋准教授が6月18日(木)に、田中誠太・八尾市長を表敬訪問し、情報誌刊行に至った経緯等について説明を行い、いかに消費者に情報を円滑に伝達していくことができるかという方法論を含め、市長のこれまでの豊富な経験や知見を通して、具体的なアドバイスや新たな提案をいただくことができる貴重な機会となりました。



田中八尾市長(写真左から3人目)。高橋経済学部准教授(写真右)

大阪市内の中学校・高校に「出前授業」!



大阪市内の中学校・高校で「素敵な人間関係づくり」をテーマにした“出前授業”を実施しました。これは日本ピア・サポート学会大阪支部が主催するもので、今年2月に行われた作戦会議の内容を踏まえ、2015年2月～3月の5日間にかけて実施したものです。

本学からは15名の学生が参加し、「リレーション作り」「デートDV」について授業を行いました。学生たちは相手を尊重する関係を築くことの大切さを、中学生や高校生にわかりやすく理解してもらうために、試行錯誤しながら、授業内容を工夫して当日に臨みました。学生たちはそれぞれの得意分野を活かしつつ、お互いに助け合い、自身の課題を克服しようと積極的に立ち向かう姿が印象的でした。

出前授業を終えた学生たちからは、授業を経験して「逃げ出したくなるほどの緊張から、つぶれそうでしたが、思いのほか、楽しむこともできた」「相手の意見を尊重し、人間関係を大切にすることがDV防止に繋がることをしっかり伝えられた」といった感想が述べられたほか、「同じテーマについて説明するにしても、中学生と高校生ではそれぞれ説明の仕方に工夫を加えないと理解が深まらないことを実感した」など、教育的な経験を得た前向きな感想が多く寄せられました。



前鶴経済学部教授(写真左)

前鶴政和経済学部教授が「日本応用経済学会学術論文賞」を受賞

2015年度日本応用経済学会春季大会(会場:九州産業大学)において、経済学部経済学科の前鶴政和教授が「日本応用経済学会学術論文賞」を受賞しました。

前鶴教授は、環境政策が経済活動に及ぼす影響や望ましい環境政策のあり方について研究しており、本学では経済学部で「産業組織論」「環境経済学」等の科目を、大学院では「研究指導」等の科目を担当しています。

国際交流

カナダ・インドネシアの大学と新たに覚書・協定を締結、海外協定校は21カ国・地域の55大学・機関に拡大

カナダ・トロント大学 School of Continuing Studies と英語教育に関する覚書を、インドネシア・ジャカルタ国立大学と学術交流協定を締結しました。

トロント大学 School of Continuing Studies は、約50年の歴史を持つトロント大学付属の教育機関です。現在、60以上の国から留学生を受け入れており、トロント大学に正規入学する

【トロント大学】

トロント大学(1827年に創立)は、カナダを代表する同国最大規模の州立総合大学です。12の学部、約67,000人の学部生、約16,000人の大学院生を擁し、国内外で高い評価を得ているトップ大学です。最新の世界大学ランキングでは20位(Times Higher Education)にランクされています。

インドネシアの高校生が本学を拠点に日本研修を実施、学生ボランティアが全行程をサポート

新学期が始まったばかりの4月17日(金)～22日(水)の6日間、本学ではインドネシアのジャカルタ第4国立高校(以下、MAN4高校)からの24名の高校生を受け入れ、日本研修プログラムを実施しました。

初めて日本を訪れたインドネシアの高校生たちは、本学の花岡キャンパスを拠点に、キャンパスツアーや体験授業、本学の学生や大阪府立花園高等学校の生徒たちとの交流、京都や奈良へのフィールドワーク、ホームステイなど、様々な活動に参加しました。



この日本研修プログラムの実施に際しては、本学の学生有志たちがボランティアとして参加し、インドネシアの高校生が日本という国の事をしっかり学べるよう、研修をサポートしました。

MAN4高校の学生たちは、本学滞在中、大阪市内や京都・奈良などへのフィールドトリップに加え、本学教員による特別講義(英語)やホームステイなど、日本の文化や生活を知るための様々なアクティビティに参加しました。

中でも、大阪府立花園高等学校の協力を得て実現した日本の高校体験は大盛況で、高校に着くとすぐに少人数のグループに分かれ、日本の高校生に混じって普段の授業を体験しました。授業後には、花園高校の生徒たちがこの日のために用意したダンスや茶道などでおもてなしを受けた後、MAN4高校の学生によるインドネシアの伝統舞踊や民族音楽が披露され、高校生同士、楽しく有意義なひと時を過ごしていました。

ための準備課程などを設置し、少人数制クラス、きめ細かい学生サービスを提供しています。

学術交流協定を締結したジャカルタ国立大学(1964年創立)は、インドネシアの首都・ジャカルタの中心部にある国立大学で、とくに教員養成大学として、高い知名度を誇ります。このたびの協定締結は、本学の東南アジアにおける新たなプログラムの実施などを可能にするもので、今後は、交換留学、海外フィールド・プロジェクト、ボランティアプログラムなど、多彩なプログラムの実施を計画しています。

【ジャカルタ国立大学のFAST FACT】

- 学生数:約24,000人(内留学生100人)
- 学 部:7学部(教育学、自然科学、工学、社会科学、言語・芸術学、スポーツ科学、経済学)
- 所在地:Jl. Rawamangun Muka, Jakarta Timur, DKI Jakarta 13220

海外フィールドスタディは、海外における交流、ボランティア事業、外国語学習などを主な内容とする短期プログラムです。近年は、ネパール、ミャンマー、ベトナムなど、東南アジア諸国でのボランティアや現地の学生、市民との交流などを盛り込み、多くの学生が参加しています。

同プログラムは、異なる文化や生活様式・価値観を持った社会のなかに身を置き、自分たちの文化的アイデンティティについて考えながら、現地の人々との交流を通じて「グローバル人材」の養成に不可欠となる異文化理解を深めることを目的としています。

昨年度に引き続き、ベトナムでの開催2回目となる今回のプログラム(3月19日～26日)は、ハノイ市に位置するChu Van An高校の全面協力によって実施されました。

本学と同高校は、2013年5月に高大連携に関する協定を締結し、留学生の受入や短期の相互訪問プログラムなどを実施し、友好的な関係を積み上げてきた。

なかでも本学学生が「日本語教師」となり、現地で教育活動に従事することをメインテーマとしているこのプログラムは、派遣・受入側の双方にとって大変評判の高いプログラムです。

今回のプログラムに参加する学生たちは、昨年度の経験を活かして、より一層入念に準備を進め、このプログラムの成功のために尽力しました。



ベトナムで海外フィールドスタディを実施、現地高校での日本語教育指導を体験

課外活動(在学生の活躍)

文化会将棋部が、春季一軍戦B級で全勝優勝！A級に昇格！

平成27年度関西学生将棋連盟春季一軍戦B級最終戦で、本学将棋部が最終戦の和歌山大学に勝利し、全勝優勝を成し遂げ、秋季一軍戦からA級に昇格することが決定しました。

6月14日(日)に開幕した一軍戦B級では、初戦の近畿大学に6-1、二戦目の関西大学に6-1、三戦目の甲南大学に6-1と実力の差を見せつけ、3連勝を飾りました。翌週に開催された四戦目は、大阪市立大学に6-1、最終戦の和歌山大学に5-2で勝利しました。

ここ何年かは、A級との入替戦で敗戦が続き、悔し涙を飲んできた将棋部の皆さんですが、今回は日頃の練習成果を存分に発揮し、見事自身の力でA級への自動昇格を果たしました。

秋季一軍戦A級では、強豪大学ひしめく中での対局となりますが、本学将棋部への熱い声援をよろしく願います。

体育会女子バレーボール部、入替戦に勝利し、見事5部昇格!!!

岸和田市総合体育館で平成27年度関西大学バレーボール連盟春季入替戦が開催され、本学体育会バレーボール部が5部昇格を果たしました。昨年の秋季リーグ戦から本格的に活動を再開した女子バレーボール部は、今春新入部員を新たに迎え入れ、春季リーグ戦(6部Dブロック)、6部順位決定戦を見事勝ち抜き、今回の入替戦に挑みました。

入替戦の相手は、5部7位の大阪大学



でしたが、セットカウント3-0で完封勝利を収め、観戦・応援に駆け付けた保護者や関係者たちの期待に応えました。

試合終了後は、この間練習を共に頑張ってきた部員やマネージャー、指導者たちと記念撮影を行い、その笑顔からは秋のリーグ戦でのさらなる飛躍を予感させてくれるものでした。今後も女子バレーボール部への応援を引き続きよろしく願います。

参加者の声 法学部2年生女子 「今年はバレー経験者も入部してくれたおかげで、良いスタートを切ることができました。今回の試合では、皆さんの応援のおかげで5部昇格を果たすことができましたが、現在は4部昇格を目指して頑張っています。」

第8回春川コリアオープン国際テコンドー選手権大会に、日本代表として出場



体育会テコンドー部に所属する澤田一輝選手(法学部3年生・テコンドー部主将)と村上亨来選手(経済学部1年生)の2名が、韓国・春川で開催される第8回春川コリアオープン国際テコンドー選手権大会(7月22日~27日)に、日本代表として出場しました。

澤田選手は、本年3月に開催された全日本テコンドー選手権大会で優勝するなど、優秀な成績を収めており、村上選手もジュニア部門の各種大会で優秀な成績を収め、日本代表選手として選出されました。

今回の大会では、澤田選手、村上選手とも、思うような成績を収めることができませんでしたが、各国の代表選手との対戦を通じて、今後につながる貴重な経験をすることができました。

参加者の声 澤田一輝選手 「今回は、皆さんの期待に応えることができる成績を残すことができませんでしたが、今回の経験や反省を踏まえ、日頃の練習に一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。引き続き、応援の程よろしく願います。」

体育会クラブ(硬式野球部・サッカー部)公式戦応援ツアーを開催!

本学阪南キャンパスで開催された「阪神大学野球連盟春季リーグ戦」及び「関西学生サッカー連盟春季リーグ戦」に出場する本学硬式野球部とサッカー部を応援する「体育会クラブ公式戦応援ツアー」が、4月19日(日)に開催されました。

この取組は、本学体育会クラブへの応援を通じて、参加者間の交流を深めることを目的に開催されたもので、今回はクラブ・サークル生や留学生など、総勢51名の学生・教職員が応援ツアーに参加しました。

10時30分から野球場にて開催された阪神大学野球連盟春季リーグ戦では、参加者全員が学友会で用意した「OUELベースボールキャップ」をかぶり、「KEIHOオリジナルタオル」とメガホンを手にしなが、 「KEIHOスタイル」で、硬式野球部にエールを送りました。硬式野球部も応援に応え、初回に4点先取するなど、昨季1部所属校に善戦するも試合は惜しくも敗れ、最後まで手に汗握る接戦を繰り広げました。

硬式野球部の応援が終了した後、全員でバーベキューを楽しみながらの昼食交流会が開催されました。交流会では、参加者

ナンバープレートの盗難防止ネジとひったくり防止カバーの取り付けボランティアに本学学生が参加しました。

八尾市立亀井小学校でナンバープレート盗難防止ネジとひったくり防止カバー取り付けボランティアが、2月21日(土)に行われ、本学のボランティアサークル「学生防犯隊」に所属する学生たちが参加しました。



この取組は、市民の防犯意識の向上を図るとともに、ひったくりなどの街頭犯罪等を未然に防ぐことを目的として、八尾市役所が八尾警察署と連携しながら定期的に行っているものです。

当日は、学生防犯隊の学生がひったくり防止カバー及び盗難防止ネジの取り付けを積極的に行いました。

参加者の声 法学部4年生女子 「当日は、地域の方々に盗難防止ネジの取り付け方を教えていただきながら、皆さんと協力してボランティア活動に取り組むことができました。防犯活動をテレビで見るとは多いと思いますが、実際に経験しないと分からないことも多いので、このような取組にたくさんの学生に参加してほしいと思います。」



の自己紹介などが行われた他、ウクライナやウルグアイからの交換留学生に、他の参加者がバーベキューのやり方や箸の使い方などを身振り手振りで伝えながら、食事を楽しんでいました。

昼食交流会後は、グラウンドで開催された関西学生サッカー連盟春季リーグ戦の応援を行いました。前半は優勝候補の強豪校である関西福祉大学相手に互角に渡り合いましたが、試合は残念ながら敗戦となりました。硬式野球部、サッカー部とも、最後まで諦めずにプレーする姿がとても印象的で、応援に駆けつけた学生たちも声をふりしぼって最後まで応援していました。

女子学生ワークショップ「女子学生と健康」を開催!

花岡キャンパスクロノス3階ガリオンにて、女子ワークショップ・交流会が開催され、多くの女子学生が参加しました。



今年度1回目の開催となる女子ワークショップ・交流会は、「女子学生と健康」をテーマに、本学客員教授の大島由美子先生と桑田洋子医務室員を講師にお招きし、普段なかなか聞くことのできない女性のホルモンバランスや肌のトラブルなどに関する専門的な内容について、分かりやすく説明していただきました。

また、当日は演劇サークルに所属している女子学生による「体のリズムに関する寸劇」も披露され、健康問題をより身近な問題として考えることができる機会となりました。

講演終了後は、用意されたケーキやピザなどを食べながら、学部学年を越えた交流が行われ、参加した女子学生からは「肌荒れの原因や若い時からの手入れなどが必要であることが分かり、大変参考になりました」「いろんな方との交流を深めることができ、今後是非参加したい」といった感想が寄せられ、大変有意義な取組となりました。

2015年度春学期課外活動戦績

2015年度も各クラブの公式戦(春季リーグ戦等)が開催され、学生たちは日頃の練習成果を存分に発揮していました。春学期の各クラブの主な戦績は、以下のとおりです。

9月以降も各クラブの公式戦(秋季リーグ戦等)が開催されますので、引き続き在学生(クラブ生)への応援をよろしく願います。

Table with 3 columns: クラブ名 (Club Name), 大会名 (Tournament Name), 結果 (Result). Lists various sports clubs and their performance in the 2015 spring semester.

■2015年度校友会事業計画

■事業の概要

- 1)全国校友が一大結集する場として、校友会総会・懇親会及び経法祭を位置づけ、全国から多くの校友に参加していただける企画・運営を行い、校友会組織の拡大・発展をはかる。
- 2)校友会組織の要諦である地域支部への支援を継続・強化し、支部活動の活性化を図る。
- 3)校友会準会員である在学生の主体的な学生活動を支援し、在学期間におけるクラブ・サークル活動や学習活動等の活性化に資するとともに、校友会と在生との良好な関係を構築する。
- 4)校友会組織の拡大・発展のために、その中心的役割を担う幹事会及び常任幹事会の機能を円滑に果たすために計画的な運営を行う。
- 5)校友会の各種活動を効果的に会員へ広報するために、正会員、特別会員、準会員別に広報の方法を検討・実施し、会員との関係構築の強化を図る。
- 6)校友会の各種機能(総会、幹事会、常任幹事会、地域支部、校友会報、ホームページなど)を円滑化するために、日常的業務遂行機能としての校友会事務局を強化する。

1 第17回総会・懇親会

- 開催日:2015年10月3日(土)
- 会場:シェラトン都ホテル大阪

2 経法祭参加企画

- 開催日:2015年11月上旬
- 会場:花岡キャンパス・八尾駅前キャンパス
- 内容:模擬店(地域支部参加含む)及び模擬店コンテスト

3 支部活動支援

①各支部による事業計画・予算(案)の策定

支部活動の活性化を一層推進するため、各支部の活動状況等に応じた事業計画・予算(案)を策定する。

②支部総会の開催

各支部の状況に合わせて、適宜支部総会を開催する。各支部総会へ本部役員、大学教職員及び近隣支部からの参加を促進する。

③全国支部長会議を経法祭の開催日と併せて開催

4 学生支援

①学生活動援助費の有効活用

学生(準会員)への認知向上を図り、学生活動援助費の趣旨・目的に則り、多くの学生に有効活用していただける援助費となるよう努める。

②経法祭への財政支援(実行委員会への支援・協力)

③卒業祝賀企画への支援内容を再検討(卒業生への校友会アピール)

5 幹事会の開催

①幹事会の定例開催

第1回幹事会 7月
決算審議、校友会総会・懇親会進捗状況の確認、経法祭企画審議、校友会報編集体制・方針等の確認、全国支部長会議実施計画審議

第2回幹事会 10月
経法祭企画進捗状況の確認、全国支部長会議実施概要の確認

第3回幹事会 3月
次年度事業計画審議・決定

②常任幹事会の開催

校友会事業の円滑な運営のため常任幹事会を適宜開催する。

6 会報・広報の充実

①校友会報第20号を発刊する。

卒業生・在学生の活躍する姿、大学の持つ教育研究等における多様な情報を効果的かつ適切に発信できる広報物とする。また、第17回総会・懇親会の実施概要について掲載し、参加者の拡大を図る。

②ホームページ、学内における各種媒体の有効活用

校友会全体の活動状況、校友会会員の活躍等を積極的に情報発信し、在生及び教職員の校友会に対する理解認識を深める契機を拡大する。

7 その他

校友会事務局の日常業務の円滑な遂行を図ることを目的に、事務局スタッフ等の人選・再配置を検討する。

■2015年度校友会予算書

(2015年4月1日から2016年3月31日まで) (単位:円)

収入の部	項目	2014年度 予算額	2015年度 予算額(案)	差異
収入の部	1. 校友会費			
	準会員	10,375,000	10,375,000	0
	正会員	400,000	400,000	0
	特別会員	100,000	100,000	0
	2. 総会・懇親会参加費	500,000	500,000	0
	3. 収益事業	100,000	100,000	0
	4. 受取利息	500	500	0
	5. その他収入	50,000	50,000	0
	小計	11,525,500	11,525,500	0
	前年度繰越金	12,696,878	13,000,000	△303,122
収入の部合計	24,222,378	24,525,500	△303,122	
支出の部	1. 総会			
	総会等運営費	2,000,000	2,000,000	0
	印刷製本費	80,000	80,000	0
	旅費交通費	900,000	900,000	0
	通信費	50,000	50,000	0
	3,030,000	3,030,000	0	
	2. 幹事会			
	会議費	300,000	300,000	0
	旅費交通費	800,000	800,000	0
	部会活動費	100,000	100,000	0
	1,200,000	1,200,000	0	
	3. 支部活動等支援			
	会議費	600,000	600,000	0
	旅費交通費	1,300,000	1,300,000	0
	活動援助費	600,000	600,000	0
	支部設立準備費	50,000	50,000	0
	父母懇談会協力費	0	0	0
	2,550,000	2,550,000	0	
	4. 会報・広報			
	印刷製本費	960,000	960,000	0
	通信費	1,600,000	1,600,000	0
	報酬委託手数料	300,000	300,000	0
	2,860,000	2,860,000	0	
	5. 学生支援			
	卒業記念品費	500,000	500,000	0
卒業祝賀企画費	400,000	400,000	0	
経法祭支援費	720,000	720,000	0	
学生活動援助費	500,000	500,000	0	
2,120,000	2,120,000	0		
6. 共通・事務費				
印刷製本費	50,000	50,000	0	
消耗品費	60,000	60,000	0	
通信費	450,000	500,000	△50,000	
報酬委託手数料	10,000	10,000	0	
人件費	600,000	600,000	0	
渉外費	20,000	20,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	
1,210,000	1,260,000	△50,000		
7. 予備費				
	50,000	50,000	0	
	50,000	50,000	0	
小計	13,020,000	13,070,000	△50,000	
次年度繰越金	11,202,378	11,455,500	△253,122	
支出の部合計	24,222,378	24,525,500	△303,122	

■2014年度校友会収支決算書

(2014年4月1日から2015年3月31日まで) (単位:円)

収入の部	項目	予算額	執行額	差異	備考
収入の部	1. 校友会費				
	準会員	10,375,000	10,847,500	△472,500	
	正会員	400,000	240,000	160,000	卒業生(12名×20,000円)
	特別会員	100,000	0	100,000	
	2. 総会・懇親会参加費	500,000	405,000	95,000	81名×5,000円
	3. 収益事業	100,000	63,100	36,900	東日本大震災被災校友支援金(経法祭売上げ)
	4. 受取利息	500	616	△116	
	5. その他収入	50,000		50,000	
	小計	11,525,500	11,556,216	△30,716	
	前年度繰越金	12,696,878	12,696,878	0	
収入の部合計	24,222,378	24,253,094	△30,716		
支出の部	1. 総会				
	総会等運営費	2,000,000	2,004,460	△4,460	総会・懇親会開催費
	印刷製本費	80,000	0	80,000	
	旅費交通費	900,000	701,460	198,540	支部役員等出席旅費
	通信費	50,000	0	50,000	
	3,030,000	2,705,920	324,080		
	2. 幹事会				
	会議費	300,000	103,445	196,555	幹事会、常任幹事会
	旅費交通費	800,000	708,500	91,500	支部役員等幹事会出席旅費
	部会活動費	100,000	0	100,000	
	1,200,000	811,945	388,055		
	3. 支部活動等支援				
	会議費	600,000	730,380	△130,380	支部総会開催費等
	旅費交通費	1,300,000	1,342,200	△42,200	支部総会出席旅費等
	活動援助費	600,000	460,000	140,000	支部運営活動補助・支部企画補助
	支部設立準備費	50,000	0	50,000	支部地域支援
	父母懇談会協力費	0	0	0	
	2,550,000	2,532,580	17,420		
	4. 会報・広報				
	印刷製本費	960,000	870,048	89,952	校友会報印刷費
	通信費	1,600,000	1,472,796	127,204	校友会報送費
	報酬委託手数料	300,000	324,000	△24,000	校友会報送代行費
	2,860,000	2,666,844	193,156		
	5. 学生支援				
	卒業記念品費	500,000	475,690	24,310	学位記カバー贈呈
卒業祝賀企画費	400,000	0	400,000		
経法祭支援費	720,000	650,136	69,864	参加企画補助(レンタル代等)、模擬店グランプリ	
学生活動援助費	500,000	300,000	200,000	異文化交流行事支援(国際部)	
2,120,000	1,425,826	694,174			
6. 共通・事務費					
印刷製本費	50,000	44,928	5,072		
消耗品費	60,000	46,917	13,083		
通信費	450,000	548,148	△98,148	支部活動通信費、電話料金等	
報酬委託手数料	10,000	4,850	5,150	振込手数料等	
人件費	600,000	600,000	0		
渉外費	20,000	20,000	0		
雑費	20,000	20,000	0	保険料等	
1,210,000	664,843	545,157			
9. 予備費					
	50,000	0	50,000		
小計	13,020,000	10,807,958	2,212,042		
次年度繰越金	11,202,378	13,445,136	△2,242,758		
支出の部合計	24,222,378	24,253,094	△30,716		

※2014年度予算で計上されなかった「7.大学周年事業協力費」、「8.東日本大震災被災校友支援積立金」は、項目から外して予算執行状況を作成

■2014年度校友会事業結果

開催日	行事
4月 3日(木)	2014年度第44回入学式
4月18日(金)	第8回東京支部総会・懇親会
4月26日(土)	第1回2014年度総会・懇親会実行委員会
5月17日(土)	第2回2014年度総会・懇親会実行委員会
5月31日(土)	第13回岡山支部総会
6月 7日(土)	第7回三重支部総会
6月21日(土)	第1回常任幹事会
6月28日(土)	第11回高知支部総会・懇親会
6月28日(土)	第11回広島支部総会・懇親会
7月19日(土)	第3回2014年度総会・懇親会実行委員会
7月26日(土)	第9回愛知支部総会・懇親会
7月26日(土)	第4回福岡支部総会・懇親会
8月 2日(土)	第1回幹事会
8月23日(土)	第4回2014年度総会・懇親会実行委員会
9月 8日(月)	校友会報第19号発行
9月13日(土)	第5回2014年度総会・懇親会実行委員会
9月20日(土)	第12回石川支部総会 父母懇談会懇親会支援(広島)
9月20日(土)	父母懇談会懇親会支援(金沢)
9月21日(日)	父母懇談会懇親会支援(高松)
9月21日(日)	父母懇談会懇親会支援(高知)
9月21日(日)	父母懇談会懇親会支援(岡山)
9月23日(火)	父母懇談会懇親会支援(那覇)
9月27日(土)	第2回常任幹事会
10月11日(土)	第14回沖縄支部総会 第2回幹事会
10月18日(土)	第16回校友会総会・懇親会
11月 8日(土)	第43回経法祭支援事業(1日目)
11月 9日(日)	第7回全国支部長会議 第43回経法祭支援事業(2日目)
1月 4日(日)	学生活動支援事業(異文化交流行事)
1月24日(土)	第3回常任幹事会
2月28日(土)	第12回高知支部臨時総会・懇親会
3月 7日(土)	第3回幹事会
3月14日(土)	第15回香川支部総会
3月18日(水)	2014年度第41回卒業式 卒業記念品(学位記カバー)

2016年4月 国際学部の開設が決定

■養成する人材像

異文化理解・多文化共生を育み、豊かな国際感覚と優れたコミュニケーション能力を身につけるとともに、幅広い教養と専門性を備え、チームワークとリーダーシップをもって、国際的なビジネス・市民社会で活躍できる人材を養成します。

グローバル化された社会において、文化や価値観、考え方の違いを踏まえ、他者の考えや意見を理解し、自らの考えを的確に伝える能力を身につけることができます。また、グローバル社会における諸課題を理解するために必要な、文化、言語、歴史、経済、法律、政治等様々な学際的専門知識とそれを修得するうえで基盤となる教養を身につけることができます。

■コース内容

コース名	内容	履修モデル
国際コミュニケーションコース	世界の様々な国や地域の人々と協働して、共に生きていくために多様な価値観を尊重し、異なった文化や社会の中で、問題解決を図ることができる国際感覚を有する人材を養成することを目標としています。また、英語をツールとして活用した実践的な国際コミュニケーション能力とともに、幅広い国際性と教養を身につけます。	・国際交流・公共サービスモデル ・観光ホスピタリティモデル ・英語専門職モデル
グローバルキャリアコース	経済・経営・法を中心とする知識や素養とともに、異文化に対する理解などを前提とする広い国際教養を兼ね備え、主にビジネスの国際的展開に貢献できる人材を育成することを目標としています。	・民間企業・国際業務マネジメントモデル ・国際商取引モデル ・国際協力モデル

■学生が修得できる能力

自国理解を基礎とした異文化理解や多文化共生志向、グローバル化とグローバルイシューの理解などの「国際理解力」、国際社会の共通言語である英語と自国語の日本語、情報リテラシーの修得、コミュニケーションスキルとしての自己表現力（プレゼンテーション力）や意思疎通力などの「国際コミュニケーション力」、国際経済情勢や貿易、金融、外国為替などに関する専門知識及び実践能力の修得といった「国際ビジネス力」、文化・価値観が異なる人々と協働する力や行動力といった「国際協働力」という4つの力を修得することができます。

校 友 会 Q & A

Q1: 校友会費20,000円を納めたかどうか知りたいのですか？

A1: 下記校友会事務局まで、電話又はFAX、e-mailでお問い合わせください。また、校友会費20,000円は、年会費ではなく終身会費となっています。一度会費を納めていただいている場合は、会費納入の必要はありません。

※注意 2001年以降に入学された方（編入生を除く）については、在学中に校友会費を委託徴収しておりますので、会費納入の必要はありません。また、2003年度以降に入学された編入生については、卒業後に、委託徴収金の残額1万円を納入する必要があります。

Q2: 卒業証明書・成績証明書を発行してほしいのですが？

A2: 卒業証明書・成績証明書の発行を希望される場合は、郵送（教務課宛）又は教務課窓口にてお申し込みいただくことができます（電話やFAX、メールでの申し込みはできません）。詳しくは、大学ホームページ「各種申請書・願・届」をご参照ください。

URL <http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/sheet/certificate.html>

※個人情報保護の観点から、証明書の発行には、本人確認をさせていただく必要があります。

Q3: 「東京麻布台セミナーハウス」「琵琶湖セミナーハウス」「阪南キャンパス」など、大学の所有する施設を利用できますか？

A3: 校友会費を納めていただいている会員については、日程が空いていれば利用することができます。施設の利用料金などについては、事務局までお問い合わせください。

Q4: 住所、勤務先、氏名などの変更手順の方法はどうすればいいですか？

A4: 住所や名前、勤務先の変更は、校友会ホームページの「住所変更届」フォーム、FAX、郵便のいずれかでお知らせください。

URL <https://www.keiho-u.ac.jp/kouyuukai/kouyufom.html>

Q5: 不審な問い合わせやダイレクトメールが届いた場合はどうすればいいですか？

A5: 本会では、ハガキやダイレクトメール、個別の電話などによる個人情報の調査は一切行っていません。また、他の業者に委託して名簿管理を行うこともありませんので、ご注意ください。万が一、このような問い合わせがあった場合は、事務局までご連絡ください。

事 務 局 だ よ り

●卒業生の情報をご提供ください！

大阪経済法科大学は、これまで約4万人もの卒業生を社会に送り出してきました。本学を卒業された校友の皆様は、地方自治体の首長をはじめ法曹界、産業界、経営者、アーティストなど、あらゆる方面で活躍されています。

校友会のホームページでは、このように社会で活躍する卒業生の情報を積極的に発信していきたいと考えています。先輩や後輩、テレビや新聞などで本学卒業生の活躍をご存じの方は、是非事務局までご連絡ください。皆さんで、活躍する卒業生と一緒に応援しましょう！